

千葉大学に献体登録をご希望の方へ

■献体とは

解剖学の教育・研究のため、自分の遺体を無条件・無報酬で提供することを献体といいます。献体を申し込まれる方の中には、自分のかかっている病気の研究のために死後自分の体を解剖（病理解剖といいます）して欲しいという方がいますが、千葉大学医学部では病理解剖の登録はしていません。ご不明の点はお問合せください。

■登録申込みができる方

1. 「無条件・無報酬」で献体すること
2. 千葉県内に現住所があり、県外へ転居する予定がないこと
3. 本人が献体希望の意思を表示し、千葉大学医学部でその確認ができる方
4. **親族（親・配偶者・兄弟姉妹・子）全員の文書による同意が得られる方**
5. 原則として60歳以上で、未成年の子どもがいない方
6. **親族等の方に、大学まで遺骨の引取りに来て頂ける方（遺骨の引取りは、ほとんどの場合、献体から2～3年後になります）**

[病気で療養中の方でも献体登録はできますが、非常に感染力の強い病気（結核・B型肝炎・C型肝炎など）にかかったことのある方は、原則として献体登録やご遺体の引取りをお断りしております。ご不明の点はお問合せください。]

■提出する書類（用紙は本人が直接請求して下さい）

1. 献体登録申込書
2. 献体登録同意書・遺骨の引受人（申込書裏面）
3. 承諾書
4. 献体を希望した動機・決意記入用紙

■申し込みのながれ

1. 書類請求
2. 書類作成・提出
3. 千葉大学大学院医学研究院献体委員会の登録審査（内容の問い合わせをする場合があります）
4. 郵送での結果連絡

≪参考≫千葉大学医学部では、出棺場所から大学までの搬送費用、火葬費用のみ負担いたします。また納骨・散骨等も行わず、年に1度解剖慰霊祭を実施いたします。

■個人情報について

登録申込書等に記載されている個人情報は、千葉大学医学部の献体に係る業務以外には利用しません。

■千葉白菊会への入会について

千葉大学医学部へ献体登録された方は、同時に篤志献体団体千葉白菊会に参加となります。千葉白菊会は、千葉大学に献体を行う予定の者の会であり、会員には献体に関する案内や情報提供を行います。なお、参加者に具体的な活動や義務を求めることはありません。千葉白菊会については別紙をご覧ください。

千葉大学亥鼻地区事務部総務課 総務第一係(献体担当)
電話番号：043-226-2988（受付時間：午前9時～午後4時）
メールアドレス：inohana-soumu1@chiba-u.jp

献体登録申込書 記入要領

登録番号
登録年月日

記入不要

表面

献体登録申込書

令和 ○年 ○月 ○日

千葉大学医学部長・大学院医学研究院長 殿

私は、献体の趣旨に賛同し、同意書(裏面)をそえて献体登録を申し込みます。

1. ふりがな	ちば たろう	3. 性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
2. 氏名	千葉 太郎		
4. 生年月日	西暦 0000 年 00 月 00 日 (満 00 歳) 明治・大正・昭和		
5. 現住所	〒000-0000 千葉市中央区亥鼻1-8-1		
6. 電話番号	043-222-7171		
7. 携帯番号	090-0000-0000		
8. メールアドレス	inohana-soumu1@chiba-u.jp		
9. 希望する連絡方法	電話(つながらない場合、メール)		
10. 過去に経験した 大病・手術・外傷など	急性虫垂炎、大腿骨近位部骨折		
11. 本籍地(都道府県) または出身国	千葉県		
12. 親族欄 (ご生存の方にチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 配偶者 <input checked="" type="checkbox"/> 子(2 名) <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input checked="" type="checkbox"/> 兄弟姉妹(1 名)		

千葉大学医学部へ献体登録された方は、同時に篤志献体団体千葉白菊会に参加となります。
千葉白菊会は、千葉大学に献体を行う予定の者の会であり、参加者に具体的な活動や義務を定めることはありません。

事務局整理欄	用紙送付	年 月 日	献・不・退	年 月 日
--------	------	-------	-------	-------

記入不要

必ず献体登録を申し込むご本人が自筆で記入してください。

1. ふりがな、2. 氏名	戸籍上のご氏名をご記入ください。漢字はわかりやすく正確に記入してください。押印をしてください。
3. 性別	性別にチェックをしてください。
4. 生年月日	西暦または和暦で生年月日をご記入ください。満年齢をご記入ください。
5. 現住所	現在のお住まいをご記入ください。なお、他家に同居している場合は必ず同居先である旨を記入してください。ご家族と同居で表札が違う場合、〇〇様方と入れてください。
6. 電話番号	申込書の内容を電話で確認する場合がありますので、正確に記入してください。
7. 携帯番号	申込書の内容を電話で確認する場合がありますので、正確に記入してください。
8. メールアドレス	お持ちの場合はご記入ください。
9. 希望する連絡方法	電話、携帯電話、メール等、ご希望の連絡方法をご記入ください。
10. 過去に経験した 大病・手術・外傷など	解剖実習の際、教育の参考とさせていただきますので、可能な限りご記入ください。
11. 本籍地(都道府県) または出身国	本籍地の都道府県または出身国をご記入ください。
12. 親族欄 (ご生存の方にチェック)	申込者本人(献体登録者)を基準にし、配偶者、両親、子ども、兄弟姉妹のうち、ご生存の方すべてにチェックをしてください。 ご兄弟・お子様はご生存の方の人数を記入してください。

献体登録同意書

千葉大学医学部長・大学院医学研究院長殿

(申込者の氏名)

私どもは、**千葉 太郎** が献体登録することに同意いたします。

連絡順位	同意者氏名 生年月日	印	続柄	住所 電話番号	遺骨の引受人
1	フリガナ ちば はなこ 氏名 千葉 花子		妻	〒 000-000 千葉市中央区亥鼻1-8-1	○
	明大 昭平 00 年 00 月 00 日生			TEL(000) 000 - 0000	
2	フリガナ ちば いちろう 氏名 千葉 一郎		長男	〒 000-000 千葉市中央区亥鼻1-8-1	○
	明大 昭平 00 年 00 月 00 日生			TEL(000) 000 - 0000	
3	フリガナ ちば はるこ 氏名 千葉 春子		長男の妻	〒 000-000 千葉市中央区亥鼻1-8-1	○
	明大 昭平 00 年 00 月 00 日生			TEL(000) 000 - 0000	
4	フリガナ ちば じろう 氏名 千葉 次郎		次男	〒 音信不通	
	明大 昭平 00 年 00 月 00 日生			TEL() -	
5	フリガナ いの はな なつこ 氏名 亥鼻 夏子		姉	〒 000-000 千葉県柏市柏の葉6-2-1	
	明大 昭平 00 年 00 月 00 日生			TEL(000) 000 - 0000	

納骨までの手続きを行ってくださる方(死後事務委任契約者等)

1	フリガナ 氏名 〇〇市社会福祉協議会		死後事務委任契約者	〒 000-000 墨田区文花1-19-1	
	昭平 年 月 日生			TEL(000) 000 - 0000	
2	フリガナ 氏名 老人ホーム〇〇〇		施設長	〒 000-000 松戸市松戸648	
	昭平 年 月 日生			TEL(000) 000 - 0000	
3	フリガナ 氏名			〒	
	昭平 年 月 日生			TEL() -	

・献体登録申込者の氏名をご記入ください。

・申込書表面「12. 親族」欄に記入した親族(配偶者、両親、子ども、兄弟姉妹)全員が同意者として署名してください。ただし、音信不通などの場合は、その旨ご記入ください。
・同意者ご本人が自筆で記入してください。
・親族が認知症などの理由で署名できない場合は、代理の方が署名し、医師や(入居している施設の)施設長の証明書を添付してください。
・欄が足りない方は、本用紙をコピーするか、大学に用紙を請求し、ご記入ください。

・同意者の方が遺骨の引受人(下記参照)も兼ねる場合は「遺骨の引受人」欄に○をつけてください。
・遺骨の返還は、ほとんどの場合、献体から2~3年後です。
・遺骨の引受人ご本人が記入してください。
・遺骨の引受人はなるべく3名以上立ててください。

・同意者の方で遺骨の引受人を兼ねる方が3名以上となる場合、この欄は記入不要です。
・公的機関を代表される方(たとえば入所施設の施設長、寺社等の管理人)や生前契約を履行する法人組織(たとえば「終活」を請け負う法人組織)が納骨までの手続きを行ってくださる方(死後事務委任契約者等)となる場合は、ご記入は1名のみで構いません。

遺骨の引受人について

献体を希望する方は、「ご自身の体を医学の発展に役立てられた後、ご遺族等にどのように取り扱ってほしいか(弔ってほしいか)」をお考えいただき、それをご遺族等によくお伝えいただいたうえで、「遺骨の引受人」欄に記入をお願いしてください。

千葉大学への献体登録が完了した後、天寿を全うされ、千葉大学において自らを医学の発展に役立てられたうえで、ご遺骨としてご遺族等のもとにお帰りになるまでには、かなりの年月を要することが考えられます。このため、引受人が高齢の場合、千葉大学からの遺骨返還の連絡がつかなくなる場合もございます。そのため、ご記入いただく引受人は、なるべく3名を立てていただき、かつうち1名は自身よりも若い方といただくことが望まれます。ここでご記入いただいたご遺族等へは、献体登録審査において事務担当者より引き受けに関するご確認の連絡をすることがあります。

同意者の方で遺骨の引受人を兼ねる方が3名に満たない場合、納骨までの手続きを行ってくださる方(死後事務委任契約者等)をご記入ください。公的機関を代表される方(たとえば入所施設の施設長、寺社等の管理人)や生前契約を履行する法人組織(たとえば「終活」を請け負う法人組織)が納骨までの手続きを行ってくださる方(死後事務委任契約者等)となる場合は、ご記入は1名のみで構いません。

なお、献体登録後に遺骨の引受人、納骨までの手続きを行ってくださる方(死後事務委任契約者等)に変更がある場合は、担当者へご連絡をお願いいたします。

裏面

登録番号

登録年月日

献体登録申込書

令和 年 月 日

千葉大学医学部長・大学院医学研究院長 殿

私は、献体の趣旨に賛同し、同意書(裏面)をそえて献体登録を申し込みます。

1. ふりがな		3. 性別	□男 □女
2. 氏名	印		
4. 生年月日	西暦 明治・大正・昭和 年 月 日 (満 歳)		
5. 現住所	〒		
6. 電話番号			
7. 携帯番号			
8. メールアドレス			
9. 希望する連絡方法			
10. 過去に経験した 大病・手術・外傷など			
11. 本籍地(都道府県) または出身国			
12. 親族欄 (ご生存の方にチェック)	□配偶者 □子(名) □父 □母 □兄弟姉妹(名)		

千葉大学医学部へ献体登録された方は、同時に篤志献体団体千葉白菊会に参加となります。
千葉白菊会は、千葉大学に献体を行う予定の者の会であり、参加者に具体的な活動や義務を求めることはありません。

事務局整理欄

用紙送付 年 月 日 献・不・退 年 月 日

献体登録同意書

千葉大学医学部長・大学院医学研究院長殿
(申込者の氏名)

私どもは、_____が献体登録することに同意いたします。

連絡順位	同意者氏名 生年月日	印	続柄	住所 電話番号	遺骨の引受人
1	ふりがな			〒	
	氏名				
	明大 昭平 年 月 日生			TEL() -	
2	ふりがな			〒	
	氏名				
	明大 昭平 年 月 日生			TEL() -	
3	ふりがな			〒	
	氏名				
	明大 昭平 年 月 日生			TEL() -	
4	ふりがな			〒	
	氏名				
	明大 昭平 年 月 日生			TEL() -	
5	ふりがな			〒	
	氏名				
	明大 昭平 年 月 日生			TEL() -	

納骨までの手続きを行ってくださる方(死後事務委任契約者等)

1	ふりがな			〒	
	氏名				
	昭平 年 月 日生			TEL() -	
2	ふりがな			〒	
	氏名				
	昭平 年 月 日生			TEL() -	
3	ふりがな			〒	
	氏名				
	昭平 年 月 日生			TEL() -	

千葉大学からの医師の教育・研究に関するお願い

本学医学部でお預かりする御遺体は、主に医学生への解剖学教育のために使わせていただいております。医学生にとって、人体の構造を観察し、理解することは、医師となる基本的条件であり、将来医師となるための倫理観を養う上において非常に重要な機会となっております。

また、医師にとっても、解剖学は治療を行っていく上で最重要の知識であることは言うに及ばません。特に近年では、医療技術の高度化や内視鏡などの医療機器の急速な進歩に伴い、医師はさらに高度な手術手技・検査手技が要求され、より安全でリスクの少ない治療法の開発が求められる時代となりました。大学は医学生の教育のみならず現役の医師に対しても広く教育・研究の場を提供する使命を負っております。本学におきましても解剖で得られた成果を用いて医学の発展に大きく寄与するために、高度化した手術手技・検査手技の教育や新しい術式の開発につながる研究にも力を注いで参りたいと考えております。このことは御献体された方の御遺志に沿うものであると考えております。

そこで従来の医学生のための解剖学教育に加え、「医師の教育・研究」のためにも、御遺体を使わせて頂きたい、以下の点についてお願いする次第であります。

- ・ 献体頂いた個人の情報は、従来通り環境生命医学（解剖学教室）内でのみ厳重に管理され、参加する医師等が知ることはありません。
- ・ 皆様に費用の負担はありません。また謝礼もありません。
- ・ 教育・研究の種類には、実習室での直接の解剖指導だけでなく、解剖の論文・教科書・手術手技書の作成、学会会場での医師への写真・動画での発表や解説等が含まれます。いずれの場合においても、個人が特定できないように配慮致します。
- ・ 教育・研究目的で、体の組織の一部が大学に保管されるケースがあります。
- ・ 献体を用いて行われた教育・研究において、知的財産権（特許・著作権）が発生した場合は、献体者並びに御遺族はその権利を有しません。
- ・ 同意されない場合でも不利益を受けることは無く、同意された後でも撤回が可能です。

なお、医師の教育・研究に対する御承諾が頂けない場合は、医学生の解剖学教育に限定した献体として使用させていただきます。以上大変失礼とは存じますが、書面をもってお願い申し上げます。何卒御理解の上、御承諾賜れば幸いです。

千葉大学医学部長

千葉大学大学院医学研究院長

三木 隆司

別表

解剖を行う者（解剖担当者）、解剖の目的、解剖させていただくお体の状態の関係は以下ようになります。

献体されてから御返骨までの期間は、多くの方が1～2年ですが、最大で3年ほどお時間頂く事もあります。お体をお預かりした時期により、また解剖させていただく者（医学生か、医師か）により御返骨までの期間が異なりますのでご了承頂きたいと思います。（医師による解剖の方が若干お預かりする期間が短い傾向があります。）

	解剖担当者	
	医学生	医師
解剖の目的	医学生の教育のためにお体を解剖させていただきます。	医師の教育・研究のためにお体を解剖させていただきます。
	↓	↓
御遺体の状態	お体は解剖の前に防腐処置をさせていただきます。	お体は解剖の前に防腐処置をさせていただく場合と、解剖後に防腐処置をさせていただく場合があります。これは教育・研究の内容によってどちらかにさせていただきます。

承諾書

令和 年 月 日

千葉大学医学部長・大学院医学研究院長 殿

私は「医師の教育・研究」に関する説明を受け、次の項目について理解しました。

1. 従来の学生のための解剖との違い
2. 個人情報保護について
3. 費用負担や謝金が発生しないことについて
4. 教育・研究の方法には、実習室での直接の解剖指導だけでなく、論文・教科書・手術手技書の作成、学会会場での医師への写真・動画を用いた発表や解説等が含まれることについて（個人は特定されません）
5. 体の組織の一部が大学に保管される可能性があることについて
6. 知的財産権（発明特許等の帰属）について
7. 同意の任意性とその同意の撤回について

説明を理解した上で、私は死後自分の体を医師の教育・研究の目的で使用されることを承諾します。

献体登録申込者氏名

印

－献体について（Q&A）－

Q1. 献体登録したい。

A. 登録できる方は ①「無条件・無報酬」で献体すること ②千葉県内に現住所があり、県外へ転居する予定がないこと ③本人が献体希望の意思を表示し、千葉大学医学部でその確認ができる方 ④親族（親・配偶者・兄弟姉妹・子）全員の文書による同意が得られる方 ⑤原則として60歳以上で、未成年の子どもがいない方 ⑥親族等の方に、大学まで遺骨の引取りに来て頂ける方（遺骨の引取りは、献体から2～3年後になります） ⑦過去にB型肝炎・C型肝炎・結核など、感染力の強い病気にかかられたことが無い といった条件があります。

Q2. 献体登録するにはどうすればよいのですか。

A. まずは、千葉大学亥鼻地区事務部総務課 総務第一係 献体担当までご連絡ください（043-226-2988 月～金 9時～16時※祝日は除く）。献体登録に関するご相談をお受けします。

Q3. 親族が誰もいないのですが友人等の同意で登録可能ですか。

A. ご親族がいない方、遺骨の引受人が3名に満たない方は、ご本人の同意に加えて、納骨までの手続きを行ってくださる方（死後事務委任契約者等）がいれば、登録可能です。

Q4. 親族の同意は得られましたが遺骨を引き取れる者が誰もいないのですが。

A. ご親族でなくても、ご自身の生前契約（死後事務委任契約）によりご遺骨を引き取り埋葬してくれる宗教法人、NPO法人等があります。そのような契約をしていただければ、ご登録いただけます。

Q5. 登録時に同意者となった親族に先立たれ、遺骨の引き取り者がいなくなりました。登録を取消しないといけませんか？

A. ご親族がいなくなっても、生前のうちに以下のようにしておいただければ献体は可能です。①自分の遺骨を埋葬する場所を決定し、係る経費を含めて担当者（寺社・教会等の墓地管理者）と契約を完了しておく②自分の遺骨を引き取り埋葬する方を決定し、その方（ご友人、入所施設の施設長、寺社・教会の担当者など）のご連絡先を千葉大学亥鼻地区事務部総務課 総務第一係 献体担当 まで連絡しておく

Q6. 手術を何度も受けているが献体できますか。

A. 内臓等の摘出手術を受けておられる方でも、問題なくご献体いただけます。

Q7. 献体できない病歴などはありますか。

A. B型肝炎・C型肝炎・結核などの感染力の強い病気に罹患されたことのある方は、献体登録をお断りさせていただいております。現在は医療技術の進歩により完治していると言われても、免疫力等が低下した場合は再発してしまう可能性があります。その場合、自覚症状がなくても処置をする職員や解剖をする医学生に感染してしまう危険性があるため申し訳ありませんがどうぞご理解ください。

Q8. 病歴以外で献体ができない場合がありますか。

A. 交通事故や自殺の場合、事件性があると警察が判断し司法解剖された場合、県外で亡くなられた場合、ご家族の承諾が得られない場合、遺骨の引取者がいない場合などの状況では、ご献体いただけない可能性があります。

Q9. 献体時の費用は必要ですか。

A. ご遺体の引き取りからご遺骨の返還までの諸費用(お別れする場所から大学までの搬送費用、火葬費用)は、大学にて負担いたします。ただし、ご逝去された場所からせしモニー会場までの搬送費用、通夜・葬儀の費用および埋葬費用等は大学で負担することはできません。

Q10. アイバンクへの登録や臓器提供意思表示カードを携帯していても登録できますか。

A. 同時登録は可能ですが、アイバンクへの献眼は1眼のみとなります。また、臓器提供された方は献体することができません。

Q11. 住所や連絡者が変わったらどうすればよいですか？

A. 住所だけでなく、電話番号や献体登録証(小)の裏面にある縁故者(連絡者)等の変更がある場合、できるだけ早く 千葉大学亥鼻地区事務部総務課 総務第一係献体担当 にご連絡下さい(043-226-2988 月～金 9時～16時※祝日は除く)。また、献体登録証を紛失された方も再発行いたしますのでご連絡ください。

Q12. 千葉県外へ転居したらどうなりますか？

A. 千葉大学では、ご遺体のお迎え可能地域を千葉県内とさせていただいております。県外へ転居された場合は、千葉大学亥鼻地区事務部総務課 総務第一係 献体担当 へご連絡願います。登録の継続ができない場合は、登録取消のお手続き、あるいは転居先地域の献体登録団体の問い合わせ先をご案内いたします。また、県外の病院等でお亡くなりになった場合は、ご遺体のお迎えができないことがございます。

Q13. 登録後、状況や心境の変化により登録を取り消すことができますか？

A. もちろん、ご本人の意思により登録の取り消しは自由に出来ます。千葉大学亥鼻地区事務部総務課 総務第一係 献体担当に取消願をご請求いただくか、氏名、献体登録番号、取消理由を記入し(書式は問いません)、献体登録証(小)を同封のうえ郵送にてお届けください。献体登録証紛失の場合は、紛失の旨ご記入いただければ結構です。なお、ご本人による書面での意思確認が必要なため、お電話のみでの受付はできません。

Q14. 献体登録者が死亡したとき、どうすればよいですか？

A. まず、できるだけ早く千葉大学医学部献体活動協力事業者 サンセルモ玉泉院(043-226-2504:千葉大学献体受付専用番号)へ連絡してください。365日・24時間受付しております。ご連絡頂いた際に、お迎えの日時を相談いたします。

※詳しくは 親族の方へ「献体の手続き」をご覧ください。

※もしも上記の電話がつながりにくい場合は、043-301-9000(サンセルモ玉泉院稲毛会館)または050-2018-7168(コールセンター直通)へご連絡ください。

Q15. 遺体はいつまでに大学に引き渡せば良いですか？

A. 早ければ早いほど内臓の保存が良い状態での解剖が可能になります。具体的には、死後 48 時間以内のご遺体が最も多くの目的の解剖に適しており、大部分の方がこの時間内に搬送されています。72 時間(3日間)を超えると、解剖の目的がかなり制限されてきます。120 時間(5日間)を超えた場合は、お引き受けをお断りさせていただく場合があります。なお、ドライアイスをお棺に入れる場合は、ドライアイスがご遺体に触れないようにお棺の四隅に置いて下さい。アイバンクに登録されている方は、6時間以内の眼球剖出行為がありますからご注意ください。

Q16. 死亡したときの状態によって献体できなくなることがあると聞きましたが、どんな場合ですか。

A. 交通事故や墜落事故等、内臓破裂や血管損傷にいたる事故死の場合は、腐敗防止処置ができないので献体はできません。死後、臓器提供をされた方も同様です。また、死因に刑法上の疑いがある場合の司法解剖、特殊な病気や病気の原因・進行状況等を調べるため病理解剖を受ける方は、いずれも献体はできません。

Q17. 葬儀やお別れ会などのセレモニーをしてから移送でも良いですか？

A. セレモニーの開催は構いませんが、大学としては少しでも内臓の保存が良い状態で解剖を学ばせたいので、できるだけ早いご遺体の移送をお願いしております。御通夜・告別式などは3日間以内を目途にお考えください。

Q18. 献体をするときのご遺体に何を着せたらいいですか？また、棺は必要ですか？

A. 特に決まりはございませんので、普段の寝間着等でお送りください。お棺はご準備いただいても、移送の際お引き取り出来ませんので必要ございません。

Q19. 献体後、遺体との対面は可能ですか？

A. 申し訳ありませんが、大学への移送後にご遠慮頂いております。

Q20. 遺骨が返還されるまでの期間はどれくらいですか？

A. ご遺体をお預かりしてからおよそ 2~3 年、お待ちいただいております。ただし、解剖の目的によっては、1 年前後で解剖が終了することもあります。ご遺骨は、千葉大学の「解剖慰霊祭」におけるご遺骨返還式にてお返しいたします。解剖終了後、ご遺骨返還の目途がつかましたら大学より連絡いたしますので、慰霊祭前のご返還も可能です。

Q21. 大学まで遺骨を引き取りに行くことが困難なのですが。

A. ご遺骨は、日本郵便のゆうパックでのみ郵送が可能です。ご依頼いただければ郵送いたしますので、千葉大学医学部総務第一係献体担当までご連絡ください。

Q22. 献体後、遺骨を大学ですっと預かってもらえますか？

A. ご遺骨の保管場所がないため、必ず返還させていただいております。

Q23. 遺骨を灰にして返してもらえませんか？

A. ご遺体は火葬後千葉市斎場の取り決めにより、ご遺骨の状態にてお返ししております。一度骨壺に納骨されたご遺骨を、あらためて粉骨作業を行って散骨などをする葬儀社もございますので、そういった葬儀社へご相談ください。

Q24. 返還される遺骨に他人の遺骨が混じることはありませんか。

A. 解剖実習は初めから終わりまで同じご遺体を同じ学生が担当し、他のご遺体と混ざることはありません。実習は指導教授のもとで終始真剣に整然と実施されており、学生の皆さんは感謝の念を込めて鄭重にご遺体に接しています。また、医師が解剖する場合においても、他のご遺体と混ざることは無いようなルールで実施しています。

解剖の終わったご遺体は一体毎にお棺に納められて火葬に付されますので、他のご遺骨が混ざるとは絶対に起こりません。どうかご安心願います。

Q25. 解剖後の供養はどうされていますか。

A. 千葉大学医学部主催で、「解剖慰霊祭」が毎年6月頃に無宗教で実施されます。ご遺族の方々のほかに、千葉白菊会役員、医学部・附属病院等の関係職員、医学部・看護学部の学生等の参列のもと、一人ひとりが祭壇に白菊の花を捧げ霊を弔っております。また、千葉大学医学部の霊堂が千葉市の千葉寺にあり、毎年春秋の彼岸に医学部関係者や千葉白菊会役員等がお参りしています。

Q26. 献体登録者が旅先や県外の病院で死亡した場合、献体できますか。

A. まずは千葉大学医学部献体活動協力事業者 サンセルモ玉泉院（043-226-2504：千葉大学献体受付専用番号）へご連絡ください。いつどこで天寿を全うされるか、誰にもわかりません。その意味からも、いつも献体登録証(小)をご携帯いただきたいと思います。

連絡先

登録申込・住所変更・連絡責任者の変更・登録取消など

総務課 総務第一係 献体担当 043-226-2988

献体時の連絡

千葉大学医学部献体活動協力事業者 サンセルモ玉泉院

043-226-2504（千葉大学献体受付専用番号）

※もしも電話がつながりにくい場合は、043-301-9000（サンセルモ玉泉院稲毛会館）または

050-2018-7168（コールセンター直通）へご連絡ください。

ご挨拶

千葉白菊会
会長 大澤 國昭

千葉白菊会は、当初東京大学の先生方によって設立された白菊会の千葉支部としてスタートし、本年で設立 57 周年を迎える、全国に 57 ある同種の篤志団体の中でも長い歴史を持つ団体で、今日まで約 3 千人の献体の先輩方が、千葉大学医学部の教育・研究の為に貢献され、現在は約 1 万 8 千人の同志が登録されております。

千葉大学医学部では、これまで献体を単に医学生の解剖実習に当てるだけでなく、現役医師に対する手術手技向上のための研修・研究に活用して頂いたり、私たち高齢者の人生体験や献体動機を医学生に語ることによって彼らの人間教育の一環を担わせて頂いたりして、他大学に先んじた活動を展開し、私たちはこれらの活動に積極的に参加させて頂いてまいりました。

私ども千葉白菊会は、人間で申せば還暦の 60 周年を間近に控え、これからも「無条件・無報酬」の献体の精神に則って、益々千葉大学医学部の発展のため協力してまいる所存ですので、貴方様におかれましてもより一層のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

特に、県内に新たに医療系大学が設立したこともあり、近年、千葉大学医学部への献体登録数が減少気味ですので、貴方様からもご友人などに対するロコミによって、「千葉大学医学部への献体」をお薦め賜りたく、伏してお願い申し上げます。